

事 務 連 絡
平成 23 年 4 月 19 日

各 { 都道府県
指定都市
中核市 } 民生主管課 御中

各 地 方 厚 生 局 御 中

厚生労働省社会・援護局福祉基盤課

夏期に向けた節電対策のアイデア募集について

今般の東日本大震災に伴う社会福祉施設等における対応については、特段の御配慮を頂きまして厚く御礼申し上げます。

さて、未曾有の大震災により、今夏には、東京・東北電力管内において大幅な電力の供給不足が見込まれております。計画停電を回避するためにも抜本的な需要抑制対策を講ずることが必要となっていることから、東京・東北電力管内の自治体に対し、別添のとおり平成 23 年 4 月 14 日付け事務連絡「夏期に向けた徹底した節電対策の実施について」を発出したところです。

つきましては、社会福祉施設等における節電対策に資するよう、貴管内の社会福祉施設等の職員の皆様に対し、別紙により「社会福祉施設等における節電対策のアイデア」を募って頂きますようお願いいたします。

記

- 1 応募方法等 : 別紙に記載のとおり
- 2 送信先 : 自由様式にて、各社会福祉施設等から直接Eメール又はFAXにより送信
<送信先 E-メールアドレス: syafukudenryoku@mhlw.go.jp>
<送信先 F A X 番号 : 03-3591-9898 >
厚生労働省社会・援護局福祉基盤課(施設係)
- 3 応募期限 : 平成 23 年 5 月 10 日(火)
- 4 その他 : 応募方法等については厚生労働省ホームページ
<<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000019lnv.html>>に
掲載しています

<照会先>

厚生労働省社会・援護局

福祉基盤課 施設係(松永)

TEL : 03-5253-1111 (内線 : 2868)

: 03-3595-2616 (直通)

社会福祉施設等における 節電アイデアを募集します

- 未曾有の大震災により、東京電力・東北電力管内の電力供給量が大幅に減少しており、夏場に向けて、需給悪化が見込まれています。
- 社会福祉施設等においては、利用者への配慮が必要ですが、この危機を乗り越えるため、最大限の節電への御協力をお願いします。
※ 電力のピーク期間・時間帯は、7～9月（平日）の10～21時です。
- そこで、社会福祉施設等における節電対策として、どのようなものが考えられるか、現場の第一線で御活躍中の皆様からのアイデアを広く募集します！

募集期間

平成23年4月19日（火）～5月10日（火）

提出先

メールの場合 : syafukudenryoku@mhlw.go.jp

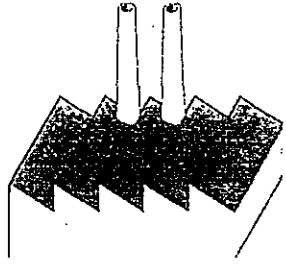
ファックスの場合 : 03-3591-9898（厚生労働省社会福祉施設節電担当宛）

提出方法

- 様式自由、匿名で結構です。
- なお可能であれば、勤務先種別（特養、ケアホーム等）も御記入ください。

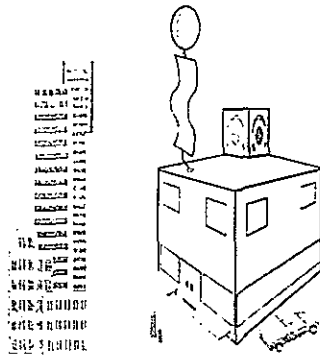
夏期節電対策の具体例

大口・小口需要家



産業分野
(製造業他)

- ・生産プロセスの一層の合理化、設備運用の最適化
- ・省エネ設備の導入
- ・節水の推進
- ・操業時間/日の短縮、シフト
- ・夏期休業の設定・長期化・分散化 他



業務分野
(オフィスビル、商業施設、
飲食店、ホテル、学校他)

- ・空調温度の引き上げ(目安温度の設定)
- ・照明の削減(窓際での消灯、ネオンの消灯など)
- ・空調時の換気量調整(今より少なく)
- ・建物の遮熱性向上(窓に遮熱フィルム、ブラインド他)
- ・パソコン、プリンター等のOA機器の使用削減等
- ・省エネ設備の導入
- ・節水の推進
- ・営業時間/日の短縮、シフト
- ・夏期休業の設定・長期化・分散化
- ・節電ビズ(クールビズの一層の強化) 他

家庭



- ・空調温度の引き上げ(目安温度の設定)
- ・扇風機の利用(エアコンの代わりに扇風機を)
- ・照明の消灯(昼間は使わない)
- ・家屋の遮熱性向上(すだれやカーテンの利用を)
- ・待機電力の削減(使わない家電はコンセントを抜く)
- ・省エネ家電製品の導入(白熱電球からLED・電球型蛍光灯など)
- ・節水の推進
- ・家族はなるべく一部屋で団らんを
- ・電力需要ピーク期の家族旅行 他